こども・教育

人形劇会

【日時】10月28日(土)午後2時～3時
【内容】「ふしぎな箱」「ぶんぶくちゃがま」
【費用】無料
【会場・申込み】当日直接、中央図書館（下落合1－9－8）へ。先着100名（児童と保護者の方を優先）
【問合せ】**こども図書館**☎（3364）1421（中央図書館内）へ。

よちトコまつり

乳幼児を外で遊ばせながら、子育てをしている親同士が情報交換できるお祭りです。
【日時】11月10日(金)・11日(土)、午前10時30分～午後2時（雨天実施）
【会場】都立戸山公園大久保地区のびのび広場（大久保3－5）
【対象】乳幼児～小学校低学年の子どもと保護者の方
【内容】乳幼児用プレーパーク・ステージ・ハイハイコーナー・活動パネル展示・マップづくり・元気のでる育児相談・カフェほか
【費用】無料（マシュマロ・せんべい・焼き芋を焼こう！・カフェのコーナーは実費）
【主催・問合せ】**戸山あそび場「よちトコまつり実行委員会」**☎090（1846）8004へ。

就学時健康診断

●就学時健康診断通知書を送りました

19年度に小学校へ入学する新1年生の保護者の方へ、就学時健康診断通知書を送りました。届いていない方はご連絡ください。受診日時等は、新宿区ホームページでご覧いただけます。
【問合せ】**学校運営課保健給食・幼稚園係**（第1分庁舎4階）☎（5273）3103へ。

催し・講座

しんじゅく多文化共生プラザの講座

(1)**国際理解講座**
【日時】11月15日(水)午後2時～4時
【内容】「わたしたちにできる国際支援～世界の子どもたちが教育を受けられるために」（NPO法人ワールド・ビジョン・ジャパン）
【費用】200円
(2)**外国人のための防災講座**
【日時】11月21日(火)午後1時30分～3時30分
【内容】防災に対する日ごろからの心構えや準備、災害時の行動ほか（通訳あり）
【費用】無料
……〈以下共通〉……
【会場・申込み】電話かはがき・ファックス（講座名・氏名・電話番号のほか、(2)は通訳を希望する言語を記入）で、**しんじゅく多文化共生プラザ**（〒160－0021歌舞伎町2－44－1、ハイジア11階）☎（5291）5171・FAX（5291）5172へ。各先着40名。

中央図書館映画会

●子ども映画会
【日時】11月5日(日)午後3時30分から
【対象】中学生以下の方（同伴者も可）
【上映作品】「だるまちゃんとだいこくちゃん」「だるまちゃんととらのこちゃん」
●水曜上映会
【日時】11月8日(水)午後2時から
【上映作品】「ユネスコ世界遺産～新たなる旅へ・Ⅸ自然と人との調和」
●映画のタベ
【日時】11月17日(金)午後6時から
【上映作品】「デイ・アフター・トゥモロー」
……〈以下共通〉……
【費用】無料
【会場・申込み】当日直接、**中央図書館**（下落合1－9－8）☎（3364）1421へ。各先着100名。

傾聴（けいちょう）～みんなのための聞き方教室

●パートナーシップ講座
【日時】11月22日～12月6日の水曜日、午後1時30分～3時30分、全3回
【対象】区内在住・在勤・在学の方、30名
【内容】カウンセリングやロールプレイ体験を通して聞き方を学習（中村泰章・東京保護観察協会「保護司のための聴き方教室」講師）
【費用】無料
【共催】ぐるーぷ・カナリヤ
【会場・申込み】電話で**ウィズ新宿**（男女共同参画推進センター）（荒木町16）☎（3341）0801（日・月曜日、祝日を除く）へ。先着順。インターネットの電子申請でも申し込めます。
【申込み】往復はがきに記載例（6面左上参照）のほか、参加者氏名（1枚で2名まで）を記入し、11月1日午後5時（必着）までに**角筈地域センター**（〒160－0023西新宿4－33－7）☎（3377）1373へ。重複申し込みと未就学児の申し込みは無効。応募者多数の場合は抽選。

つのはずコンサート

●晩秋に贈るジャズィーナイト
【日時】11月10日(金)午後7時～8時30分（6時30分開場）
【会場】角筈区民ホール（西新宿4－33－7）
【定員】236名
【出演】小林陽一＆グッドフェローズ
【費用】無料

子育て仲間づくりサポーター養成講座

地域で子どもやお母さんたちと接しながら、子育てを応援するための基本を学びます。講座終了後は、子育て仲間づくりサポーターとして登録し、地域で活動していただきます。
【日時】11月8日～29日の水曜日（22日を除く）、午前9時45分～12時
【会場】中落合児童館（中落合2－7－24）
【対象】子育てが終わり、自分の経験等を伝えたい方、自分の特技や趣味を子育て支援に生かしたい方、30名
【講師】神谷明宏・聖徳大学助教授
【申込み】**榎町児童センター**☎（3269）7304へ。先着順。

エコギャラリー新宿 11月の展示

【期間・内容】展示時間は、お問い合わせください。
●区民ギャラリー
1日(水)～5日(日)…新宿区生涯学習フェスティバル（書の展）、10日(金)～12日(日)…第15回映月松風流新宿地区いけばな展、14日(火)～19日(日)…第15回「輪」展・美術サークル「輪」、21日(火)～26日(日)…子供環境絵画・日記展、28日(火)～12月3日(日)…第12回琳翔派展、28日(火)～12月3日(日)…暮らしを彩る幸染め展
●環境学習情報センター
1日(水)～5日(日)…新宿区生涯学習フェスティバル書の展模範作品展、21日(火)～26日(日)…子供環境絵画・日記展（このほかの期間は常設展示）
【会場・問合せ】**エコギャラリー新宿**（西新宿2－11－4）☎（3348）6277へ。

イキイキ家族・わくわく地域～親子で過ごそう！楽しい時間

①親子で英語で礼儀からアクションまで～お父さんはヒーローだ
【日時】11月18日(土)午前10時～12時（9時30分から受け付け）
【会場】戸山小学校（百人町2－1－38）
【対象】区内在住・在学の小・中学生と男性の保護者の方、20組40名
【内容】プロのアクション俳優の指導で、英語を交えて礼儀指導からアクションの基本までを体験（ジェームス岡田／ショー・コスギ塾）
【費用】1人50円（保険料）
【持ち物】水筒・タオル・体育館履き・運動しやすい服装
【協力団体】アクション・クラブ
②親の笑顔はわが子への最高のプレゼント
【日時】11月23日(祝)午後2時～4時（1時30分から受け付け）
【会場】若松地域センター（若松町12－6）
【対象】区内在住・在学の小学生と保護者の方、10組
【内容】相手を肯定する言葉や相手のよいところを見つけ、親子で笑顔になれる記念日をつくるワークショップ
【費用】1組2名500円（教材費ほか）。子どもが1人増えるごとに250円を加算
【協力団体】Doasa20心理カウンセリング
③街をあそぶ～西新宿探偵団
【日時】11月26日(日)午後0時30分～4時
【会場】新宿区内
【対象】区内在住・在学の4歳～小学生の子どもと保護者の方、20組40名
【内容】探偵になり、街の中のなぞを解きながら親子で事件を解決する
【費用】500円（材料費ほか）
【協力団体】新宿子ども劇場
……〈以下共通〉……
【申込み】①②は、はがきかファックスで、③は往復はがきかファックスで参加者について記載例（6面左上参照）のほか子どもの学校名・学年（年齢）を記入し、11月10日（必着）までに、**新宿区地域家庭教育推進協議会事務局**（〒160-8484歌舞伎町1－5－1、第1分庁舎4階、生涯学習振興課地域教育係内）☎・FAX（5273）3610へ。応募者多数の場合は抽選。
※①は家庭教育講座に参加する機会の少ない男性の保護者の方を対象に今回は開催します。男性の保護者の方以外で参加を希望する方はご相談ください。

すてないで VOL. 37

10月は、3R推進月間です。3Rとは、Reduce（リデュース・発生抑制）・Reuse（リユース・再利用）・Recycle（リサイクル・再生利用）の意味で、ごみの減量や資源を有効に利用するための具体的な方法です。区では各地域でさまざまな3R活動を行っています。皆さんも日常生活で実践し、ごみの減量に努めましょう。
【問合せ】**リサイクル清掃課事業計画係**（本庁舎7階）☎（5273）3318・**新宿清掃事務所**☎（3950）2923へ。

3R（Reduce・Reuse・Recycle）を実践しよう

あなたはいくつ実践していますか？実践している項目にチェックして、生活習慣をもう一度見直してみましょう。

リデュース（廃棄物の発生抑制）～ごみの量を減らそう

□ほかで代用できるものや使い捨てになるものは、買わない・使わない・もらわない
□買い物にはマイバッグを持っていく
□なるべく包装のないものを選び、すぐにごみになるような過剰包装は断る
□弁当などを購入したとき、不要なストローや割りばしなどはもらわない
□食事は、食べきれる分だけの食材を購入して作る
□食材は無駄なく使う
□食べ残ししない
□ものを大切にして、最後まで使う
□上手にレンタルを利用して、不要になるものを増やさない

リユース（再利用）～繰り返し使おう

□シャンプーなどは詰め替えのできる商品を買い、容器は繰り返し使う
□お酒やビールなどは、リターナブル（繰り返し使える）びんのものを選ぶ
□フリーマーケットやリサイクルショップを利用する
□故障したり壊れたものは、捨てずに修理して使う
□着られなくなった洋服等は、必要な人にゆずるかリフォームする

リサイクル（再生利用）～資源として生かそう

□びん・缶・ペットボトル・新聞紙・雑誌・ダンボール・牛乳パック・白色トレイ・乾電池などは、ごみにせず、資源として分別する
□再生品を買う・使う

チェックの数はいくつでしたか？
●4個以下…もっと3Rに関心を持ちましょう。
●5～8個…頑張っていますね。でももっと3Rを実践できるはず。
●9～12個…これからもその調子で頑張って！
●13個以上…あなたは立派な3R実践者です！周りの人にも3Rのことを教えてあげましょう。

地域での3Rの取り組み～早稲田地域

早稲田地域では、「早稲田のまち」に住む人だけでなく商店会（早稲田大学周辺商店連合会）を中心に、店舗・学生・大学などが連携し、地域が一体となって「3R活動」に取り組んでいます。

活動には「遊び心」を加え、楽しみながら誰でも参加しやすい仕組みを取り入れて実践しています。そのため、この取り組みに関心を持つ地元以外の方も多数参加して「3R推進」の輪を広げています。

◎主な取り組み

▶エコステーション
商店街の空き店舗を利用した「地域リサイクルの拠点」です。空き缶やペットボトルを投入するとゲームができ、商店会のお店のサービス券や割引券が当たる回収機を設置しています。資源をリサイクルできるとともに、地域の商店街への集客効果があり、商店街の活性化にもつながるリサイクルのシステムです。また、地域の催しの打ち合わせ等にも利用され、「地域のふれあいの場」にもなっています。

▶リユース弁当箱
早稲田大学で出るごみの量の約4割を占める弁当容器を減らすため、同大学の環境サークル「環境ロドリゲス」が商店会の弁当販売店と協力し、持ち帰り弁当用にリユース容器の導入と回収の試行に取り組んでいます。

▶アトム通貨を活用してレジ袋、割りばしの使用を抑制
「アトム通貨」は早稲田・高田馬場地域で実施している地域通貨で、社会貢献活動など「良いこと」をしたときに配布されています。商店会の店舗でマイバッグ、マイはし等を持参したお客さんにも配布していて、エリア内の約300店舗で利用できます（今年は9月末で配布期間を終了。来年も実施予定）。

▶早稲田地球感謝祭
毎年、早稲田大学のキャンパスで開催される地域のイベントで、「早稲田のまち」にかかわる約1,000名がスタッフとして活躍し、積極的に「3R」対策を取り入れています。今年(9月23日に開催）は次のような取り組みを行いました。
①模擬店でリユース容器を使用し、利用者自身が使った容器の汚れを古布で落として返却すると、「アトム通貨」を配布しました。
②家庭で不用になった食器（陶磁器）を回収して、希望者に回収した食器を無償で提供し、残った食器は陶磁器の産地でリサイクル陶土として原料の一部に使用しました。
③空き缶・ペットボトル回収に、景品が当たるゲーム付き回収機を設置しました。
④マイバッグやマイはし等の持参を呼び掛け、持参した方には「アトム通貨」を配布しました。

◎今後の取り組み
飲食店で使用している割りばしを削減するため、商店会ぐるみの共同購入による普通のはしへの切り替えや、「新宿環境リサイクル活動の会」の協力により、エコステーションを活用した気軽な「環境リサイクル講座」の開催を予定しています。

早稲田地球感謝祭でリユース容器の汚れを落とす利用者

行ってみました「集団回収現場」⑪～須賀町町会

須賀町町会は、四谷地区にある約350世帯の町会です。毎月1回の集団回収の日には、11名の役員が、7か所の回収拠点を分担して整理します。町会長の千代猛（ちよたけし）さんにお話を伺いました。

Q集団回収を始めたきっかけは？
回収している可燃ごみや不燃ごみの中に資源となるものが出ているのを見て、もったいないと思っていました。近隣の町会が集団回収の活動をしていたので、様子を聞いてみたところ、報奨金を子ども会の活動に活用していることを知り、わたしたちも集団回収を始めました。

Q報奨金はどのように活用していますか？
集団回収を始めて約3年たちますが、年々回収量も増え、報奨金もそれに伴い増えてきました。現在は、災害時のための費用として保管していますが、今後は婦人部や子ども会の行事などに使うことも考えています。

Q回収に協力してくださる方に何かお願いはありますか？
集団回収のときには回収できないペットボトルなどが出されていることがあります。この場合、清掃事務所が行っている分別回収に、役員が出し直さなければなりません。
また、清掃事務所が回収している可燃ごみや不燃ごみの中に、分別が徹底されずにまだ資源となるものが入っているのが目に付きます。
分別に気を付けて、集団回収に協力をお願いしたいと思います。

集団回収を行う須賀町町会の皆さん

◎皆さんも資源の集団回収を始めませんか？
集団回収は10世帯以上集まれば団体登録ができます。マンション管理組合やご近所の気の合うグループなど、リサイクルに関心をお持ちの方はご相談ください。資源集団回収の実施団体には、回収量により報奨金（1kg当たり6円）や支援物品等を支給します。詳しくは、お問い合わせください。
【問合せ】**新宿清掃事務所事業係**☎（3950）2962へ。

ごみの行方～ごみ埋立処分場

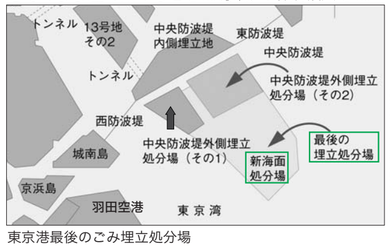
■出されたごみの行方
皆さんの家庭から出されたごみはその後どこに行くのでしょうか。東京23区では、可燃ごみは清掃工場で焼却し、その焼却灰をごみ埋立処分場に埋め立てています。不燃ごみは処理施設で破砕し、ごみ埋立処分場に埋め立てています。

■限られた埋立処分場
現在使用している新海面処分場は、東京港にある最後の埋立処分場で、このまま埋め立てが続けば約30年で一杯になると予測されています。限られた処分場をできるだけ長く使うために、埋め立てるごみの量を減らす必要があります。

■埋立処分量を減らす取り組み
可燃ごみは焼却すると元の体積の20分の1になります。しかし、不燃ごみ、特にプラスチックはかさばるため埋立処分量に占める割合は大きく、プラスチックごみの減量が課題となっています。
また、貴重な石油資源を原料とするプラスチックをそのまま埋め立てることは、資源の有効活用とは言えません。
そこで、東京23区ではプラスチックごみの発生抑制や再生利用を進める一方、平成20年度からリサイクルに適さないプラスチックは可燃物として焼却して、その際に発生する熱エネルギーを利用する方針を出しました。焼却により、一般廃棄物の埋立処分量は、体積で6割を削減できると見込んでいます。

■埋立処分場の延命のために
埋立処分場には建設泥土、その他の産業廃棄物も埋め立てられていますが、これらの減量については、東京都が取り組んでいます。一般廃棄物だけでなく産業廃棄物も減量し、埋立処分場を可能な限り長く使っていくことが重要です。

新宿区では3Rの施策を進め、ごみの減量に努めます。20年度からは新たに容器包装プラスチックの資源回収を開始し、ごみとして処理されるプラスチックの削減を図ります。



東京港最後のごみ埋立処分場

日々処分場に持ち込まれる大量のごみ